

2020

日時

4/12
(日)

13時

15時

場所

東京国際フォーラム
ホールB7

第117回日本内科学会講演会 地域医療シンポジウム



「地域医療」という単語は医療関係者のみの用語ではなく、地域住民の現実的な問題として取り上げられている。各県においても地域医療構想調整会議をはじめ様々な議論が進められている。日本内科学会の会員の先生方は、全国いずれかの二次医療圏に所属しており、その二次医療圏や各都道府県において課題に直面していることだろう。その影響は現在の診療や勤務形態にも現れてきているかも知れない。

今回のシンポジウムは改めてわが国が直面している課題と、わが国が進めている地域医療への取り組みを概括し、都市圏と地方部の現場からの取り組みを紹介したい。そしてこれからの地域医療を担う専攻医からの声をいただいた上で、内科医としての在り方、地域医療に関する教育にも踏み込んだシンポジウムとなることを期待し、多くの方にご参加いただきたいと考えている。

司会

井口 清太郎 (新潟大学大学院医歯学総合研究科)

伊藤 智範 (岩手医科大学)

- 1 これまでの地域医療シンポジウムを振り返り
新潟大学 井口 清太郎
- 2 『医療改革 2025年問題、2040年問題に向けて』
三和病院 高林 克日己
- 3 地域との連携『千葉県・柏モデル』
東京大学高齢社会総合研究機構 辻 哲夫
- 4 地域との連携『福井県・高浜町の経験』
福井大学地域プライマリケア講座 井階 友貴
- 5 内科専門研修における地域医療
『専攻医の悩み～地域医療と症例登録のジレンマ～』
あかの市民病院 久代 航平(内科専攻医)
- 6 総合討論 これから内科学会に求められること